

令和8年度 第1回やまなしプラスチックスマート連絡協議会

【日時】

令和8年9月18日（金曜日） 10時00分～11時20分

【場所】

山梨県防災新館410・411会議室（甲府市丸の内一丁目6番1号）

【内容】

13名の委員（オンライン出席を含む）が参加し、行政や各団体におけるプラスチック対策に関わる活動について、以下のとおり意見を交わしました。

1. 県の事業報告

- ・河川マイクロプラスチック調査結果及び人工芝施設実態調査結果

2. 協議会団体等の事業・成果報告

- YBS 山梨放送（旧：海と日本プロジェクト in やまなし）
 - ・日本財団が推進してきた「海と日本プロジェクト」が令和7年度をもって終了し、委託を受け活動していた一般社団法人海と日本プロジェクト in やまなしが令和8年6月に解散したについて報告があった。
 - ・YBS 山梨放送が実施した「スポ GOMI 甲子園 2026 山梨県大会」の開催結果について報告があり、31チーム92名が参加し、甲府東・都留・笛吹高校の合同チームが優勝したことが紹介された。
 - ・山梨県トラック協会と連携し、令和8年10月10日に環境イベントを開催するとともに、県内3か所において清掃活動を実施予定であることが説明された。
 - ・令和8年10月31日に開催予定の「日本財団スポ GOMI ワールドカップ 2027 山梨 STAGE」について紹介があり、参加者募集を行っていることが共有された。

○山梨環境カウンセラー協会

『マイクロプラスチックごみ ～水環境汚染と私たちの暮らし～』

- ・山梨環境カウンセラー協会が令和7年11月に開催した、京都大学の田中周平氏による「PFASとマイクロプラスチック水環境汚染と私たちの暮らし」講演会について報告があった。
- ・講演では、マイクロプラスチックによる水環境汚染や生態系への影響について、多数の事例写真を交えながら説明があった。
- ・レジ袋やストローが紫外線や物理的衝撃等により微細化し、マイクロプラスチックへと変化する過程に関する研究成果が紹介された。
- ・家庭から排出される繊維状マイクロプラスチックについて、洗濯機の種類やフィルター性能の違いによる排出量の差に関する研究結果が紹介された。

3. 勉強会の開催報告について

主催者が欠席のため、事務局から報告を行った。

- ・令和7年度第2回協議会における提案を受け、令和8年3月5日に山梨マイクロプラスチック削減プロジェクト主催による「みんなで減らす『使い捨てプラスチック』勉強会」がオンラインで開催された。
- ・同志社大学経済学部准教授の原田禎夫氏を講師に迎え、海洋プラスチック問題の現状や国内外の先進事例等について講演が行われた。
- ・京都府亀岡市におけるレジ袋提供禁止条例や、市民・事業者・行政が連携したプラスチックごみ削減の取組事例について説明があった。
- ・リユース食器の活用、マイボトル利用促進、給水スポット整備など、地域レベルで実践可能な取組が紹介された。
- ・プラスチック汚染の解決には、行政・事業者・地域団体・県民が連携しながら継続的に取り組むことの重要性が共有された。
- ・山梨マイクロプラスチック削減プロジェクトからは、今年度も同様の勉強会の開催を検討している旨の報告があった。

4. その他

- ・レジ後方に設置するビニール袋削減啓発 POP への協議会名の使用が見送られた昨年の経緯について説明があった。また、ペットボトル回収事業による収益約 100 万円を活用した子ども食堂への米の購入支援の実績について報告があった。
- ・「認定 NPO 法人スペースふう」から 2025 年の活動報告について
- ・事務局から、令和8年9月27日に開催される「第32回桂川・相模川流域シンポジウム」等のイベントについて案内を行った。
- ・構成団体から、今後開催予定のイベントや普及啓発活動等について案内があった。